

2. 学級指導の基本的な指導過程（サマリー）¹

学級指導の準備から、授業、授業後までの基本的な指導過程は以下の表の通りです。

《学級指導の準備》

内容	教師の準備	児童の準備
テーマの決定	- 学校の年間計画にしたがって学級指導のテーマを決める。 (新たに生じた問題を扱うこともあり得る。)	
テーマの予告	- 事前に児童にテーマを予告する。これにより児童に問題意識をもたせる。	- テーマを知って問題意識をもつ。
授業準備	1. 事前調査（アンケート、インタビューなど）	- アンケートやインタビューに答える。
	2. 資料の作成と準備 【例】 - 事前調査の集計（グラフや表で示す） - 実物、写真やビデオ、録音などの準備 - ティーチングマテリアル、ラーニングマテリアルの作成 - 寸劇の準備 - 既存の資料の収集・準備	- 児童が事前調査の集計などの準備に参加することが可能であれば、教師と一緒に行うことで問題意識を高める。
	3. 個人カードの準備	

《特活の時間》

ステップ	教師の活動	児童の活動
1. つかむ	- 授業の前に、学級指導の4つのステップのタイトルを黒板に貼っておく - テーマを板書して授業を開始する。その際ステップ4で記入する個人カードを見	- 本時のテーマや、自分がやるべきことを理解する。

¹ 特活教員ガイド《理論編》を参照のこと

	せ、児童に授業の見通しをもたせる。(配布する必要はない) 事前に作成・準備した資料、寸劇などで、児童に何が課題であるかを示す。 - 資料や寸劇を示し、そこから分かることについて児童と対話するなどして理解を深めさせる。 - 課題について一般的な問題としてではなく個々の児童が解決しなければならない問題であることを児童に意識させる。	課題を、他人事ではなく自分のこととしてとらえる。 - 教師の提示した資料や寸劇を見ることで、何が自分の課題であるかをとらえる。
2. さぐる	問題が起こる「原因」や「解決の必要性」について、児童に問いかけ、話し合いを通して児童に考えさせる。 - 教師が話し合いを進めるが、ファシリテーターとしての役割に徹し、教師の意見を押し付けることはしない。 - 児童から出された意見を整理しながら板書する。 - 必要に応じて、追加の資料を示すこともある。	【話し合い】 - ステップ1でつかんだ課題について、「なぜ起こるのか」、「なぜ解決しなければならないか」を追及する。 - 友達の意見を聞いて、自分と異なる考え方に触れ、それをもとに自分を振り返ったり、新しい考えを思いついたりする。
3. 見つける	問題の「解決法」について、児童に問いかけ、話し合いを通して児童に考えさせる。 - 教師が話し合いを進めるが、ファシリテーターとしての役割に徹し、教師の意見を押し付けることはしない。 - 児童から出された意見を整理しながら板書する。 - 必要に応じて、追加の資料を示したりゲストティーチャーを招いて新しい知識を伝えたりすることもある。	【話し合い】 - ステップ2で探った内容をふまえて、問題を「どのように解決するか」について、話し合いながら見つけていく。 - 友達の意見を聞いて、自分と異なる考え方に触れ、それをもとに解決法を見つけていく。

4. 決める	児童一人一人に、解決策を自己決定させ、個人カードに記入させる。 - 教師は、児童に「こうしなさい」と指示するのではなく、児童が自分に合った意思決定ができるように助言する。	ステップ3の話し合いで見つけた解決法の中から自分に合ったものを選んだり、新しいものを考えたりして、一人一人が具体的な個人目標を自己決定する。 - 個人目標を、個人カードに自分の言葉で記入する。
	- 児童の発表を聞きながら、児童の今後の個人目標の実現に向けて励ます。	- 個人目標を発表し合い、今後の個人目標の実現に向けて児童同士で励まし合う。

※ 個人目標は、あとで自己評価しやすいように、達成できたかできなかったかがはっきりするようなものにする。数値目標を入れると達成度が分かりやすくなってよい。

よくない目標例	よい目標例	理 由
- おやつを食べすぎない	- おやつは初めにプレートに取り分けた分だけにする	できたかできなかったかが明確
- 気持ちのこもった挨拶をする	- 相手の顔を見て挨拶する - 笑顔で挨拶する	
- 友達と仲よくする	- 友達とけんかしない	
- 友達と仲よくする	- 毎日友達5人に話しかける	数値目標を入れている
- 友達に協力する	- 一日1回、「手伝おうか？」とクラスメイト誰かに声をかける	
- 家で勉強を頑張る	- 家で毎日30分勉強する	

《特活の時間の後の指導》

内容	教師の支援	児童の活動
意思決定したことの実践	- 児童が意思決定した個人目標に取り組む姿を認める。 - 個別に、ほめたり励ましたりアドバイスしたりして、成果を上げることができるようにする。	自分が意思決定した個人目標について、1週間程度、達成を目指して努力をする。 - 一日の終わりに自己評価をして個人カードに記録する。